

予防内服に使用される抗 HIV 薬の選択及び注意点について

岡山県では、県が配置する抗 HIV 薬について、現在、アイセントレス®+ツルバダ®配合錠又はデシコビ®配合錠を配置しております。

令和 7～9（2025～2027）年度にかけて、飲みやすさや耐性バリアの高さなどを考慮して、新たに第 2 奨励薬として「抗 HIV 治療ガイドライン」に位置づけられた、ビクタルビ®配合錠へ移行します。

（１）服薬（各エイズ治療拠点病院に以下①～③をいずれかを配置しています。）

①ビクタルビ®配合錠：１日１回・１錠／回

②アイセントレス®：１日２回・１錠／回+ツルバダ®配合錠：１日１回・１錠／回

③アイセントレス®：１日２回・１錠／回+デシコビ®配合錠：１日１回・１錠／回

（２）副反応及び注意点

①ビクタルビ®配合錠〔１日１回・１錠／回〕

副作用：頭痛、下痢、悪心

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

食事に関係なく内服可能である。

②アイセントレス®〔１日２回・１錠／回〕

副作用：嘔気などの自覚的副作用は比較的少ない

従来抗 HIV 薬と比較しても副作用や薬物相互作用が少ない。

③ツルバダ®配合錠〔１日１回・１錠／回〕

副作用：悪心、下痢、腎障害

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

④デシコビ®配合錠〔１日１回・１錠／回〕

副作用：悪心、下痢、頭痛

B 型肝炎患者の服用にて、服用中止時に肝炎が悪化することがある。

食事に関係なく内服可能で、妊娠 14 週以降の妊婦への安全性も確立している。